

市指定

所在地：大山新

たんほうしきかんとう

単鳳式環頭

大山下山田坪に所在する山田2号墳より出土した、鍍金された環頭太刀の柄頭である。

環頭の外環には龍文が彫られ、環内に鳳凰が彫られている。

形式から見て古墳時代後期（6世紀後半）のものと推定され、中央から当地の首長に下賜されたと見られる。当時の工芸技術と地域の古代史を解明する手がかりとして貴重である。

